

みんなの会ニュース

みんなの会新春のつどい

阿部市長が市長選立候補の決意

2部
講演

小森陽一さんの憲法改悪とのたたかい

二〇二二年一月二八日 みんなの会新春のつどいが開かれました。感染拡大の中、制限したつどいでした。現市長の阿部裕行さんが、四期目への挑戦の決意をのべました。二部では「岸田政権の憲法改悪阻止を」をテーマに、九条の会事務局長の小森陽一さんが講演を行いました。

◇みんなの会代表 新田 孝さん

憲法改悪反対 平和と人権を大切に
にする市政の継続発展を

今年の市長選挙、平和と民主主義を大切に
する阿部市政の継続を阿部さんの決意も聞きながら、力を合わせて進めていきたい。

今年の市長選挙、平和と民主主義を大切に



みんなの会新田孝代表

今年も一年間、国民の運動とともに頑張っていきたい。

◇阿部裕行市長のあいさつ

政策は、人権・平和・環境 だけれどもが幸せに生きられる社会を

阿部市長は、二
年間の新型コロナ
ナ感染症とのた
たかいで見えて
きたこととして、
世界的パンデミ
ックの中で、中央
集権が強まる中
で、地方政治の役
割がわかってき
たと冒頭述べま
した。

の主催者の東京都事に東京モデルを作れと再三の要請をしてきた。

▽地方分権の立場から

阿部さんは市長選挙に今回臨もうとしているのは、この間の地方分権の中央集権の中で、地方主権が本当に危なくなっていることを実感しており、そのことを熟知している首長でないと市民の生命は守れないという想いからだ、と述べました。

▼ウイズコロナ時代に

市役所の窓口でのキヤッシュレス決裁やスマホからの電子申請などの仕組みに切り替えている。一方、デジタル



阿部裕行市長

※保健所設置市 都道府県、政令指定都市、23区 多摩地域は八王子市、町田市

ロシアのウクライナ侵略糾弾！ただちに攻撃せよ！

みんなの会の声明は4面に

化の中で取り残される人が生
いても詳しく触れました
まれないようにしていく。そ
▽地球温暖化対策など

して、健康街づくりをさら
家庭ごみの焼却エネルギー
すすめて、地域のいろいろな
を地産地消で、市役所、
人たちと連携して、市民の命
学校、公共施設をすべて賄
を守る事が一番大事だとい
CO2ゼロを実現する。
強調しました

子ども・若者支援の推進、
ともに多摩市ではパートナ
多摩ニュータウンの「リ・テ
ーシップ制度が二月から動
ザイン」、パルテノン多摩・
き出す。だれでもが幸せに
中央図書館の利用などに
暮らせる社会を作りたい。

▼4期目へ挑戦の決意 政策は人権・平和・環境

最後に、コロナ禍の中で
地方自治体の役割を重ねて
強調し、市長選挙4期目に
挑戦する決意と、政策とし
て市民の人権と平和、環境
をしっかり押さえてたか
っていききたいと力強く表明
しました。

小森陽一
さん講演

岸田政権の改憲阻止！ 市民と野党の共闘を拡げる運動を！

九条の会事務局長の小森陽一さんをお招きして、改憲の動き
を強めている岸田政権と維新の会などの改憲補完勢力の危険な
動きと対抗する市民運動は何をすべきかで、九〇分にわたる講
演をいただきました。以下は、その概要です。

1、岸田政権が踏み込んだ発言、敵基地攻撃能力

攻撃能力を持った自衛隊を憲
法9条第3項に書き込むこと

岸田政権が発言している敵
だ。そのために岸田政権は憲
法改正全国本部を設置し、自
基地攻撃能力は、先制攻撃以
法改正全国本部を設置し、自
外のなにもでもない、岸田
民党の支部地方議員を通じて
政権の改憲の目的は、敵基地
この主張を広めていくという

体制を取っている。それだけ
でなく維新、国民民主も巻き
込んで進めていくとしている
。参議院選挙で改憲勢力が
3分の2以上を確保すれば、
一気に国会で改憲の議決をす
ることを狙っている。

2、改憲の狙いは、憲法9条 に自衛隊を書き込むこと

二〇一七年、安倍晋三は日
本会議の集会で、憲法9条に

みんなの会 【市政運営の3つの理念… 基本政策の柱】

1. 憲法と地方自治法に基づき、住民だれもが、安心して
住み続けられる市政を、市民と共同してつくります。「平和
を大切に、戦争をゆるさない」「平和憲法改悪をゆる
さない」「原発のない社会をつくる」「地球温暖化・気
候危機打開に最優先でとりくむ」「ジェンダー平等を
実現する」などを発信する多摩市を、引き続き発展させて
いきます。

2. 公的責任を大事にし、一人ひとりの人権が守られ、
ケアに手厚い市政をつくります。だれもが「健康で文
化的な生活を営める」ように、市の施策を具体化します。

3. 公平・公正で、全住民に開かれた市政づくりをす
すめず。公民館、図書館、コミュニティセンター、文化
ホールなどの公共施設は「市民との共同の要である」と
位置づけ、その配置計画は、引き続き、市民との情報共
有、協議、合意を得てすすめます。

3項目を加え自衛隊を書き込
むということを発言した。注
意すべきは、安保法制が採決
された以降、自衛隊の組織の
在り方は決定的に違ってきて
いる。自衛隊の3文字は戦争
法をせおったもので、先制攻
撃ができる組織になった。

安倍による抜き打ち解散が行
われ、合わせたように小池新党が
旗揚げをした。民主党が解党
小池新党へ 憲法改正と安保法制
に賛成しなければ排除へ 選挙
ギリギリで排除された人たちが
立憲民主党ができた。小池新党
は、「安倍改憲ノー」の分断を狙
った動きで、背後には維新の会
の暗躍があった。維新はそも
その出発点から野党として改
憲をどう進めるか、フオーア
ップするところが一貫してい
る。

その二〇一七年の選挙結果は、衆議院で改憲勢力が3分の2になった。

それに対して、市民と野党の共闘を作りながら、署名を取りながら分断に対抗して行った。二〇一七年以降の改憲を巡るせめ



ぎあいの基本的な対立点はどこにあるのが重要だ。

二〇一九年の参議院選挙で、3分の2を阻止し、安倍政権が崩壊してから菅、岸田となり、抜き打ち解散で、衆議院が維新も含めて改憲勢力3分の2になった。これが二〇二二年の政治状況だ。

3、維新の会の危険な役割

民主党政権に続いて、二〇一二年 第2次安倍政権は改憲を全面にかけて発足した。これを支える改憲勢力の野党が維新の会だった。

中央集権に対抗したかのように出てきて、自民党よりもっと危険なのに、政治が変えられるように見せかけ、本当に変えようとしている人たちの支持を引きはがす、これが維新の会や小池百合子のやり方だ。

維新の会の松井代表が 今年の参議院選挙で憲法改正の国民投票をやってしまえというのは 無理がわかっていて

も、維新の会が補完勢力ではなく改憲勢力として主導していくうえでの一連の動きだ。

4、市民運動の側はなにをすべきか

改憲勢力の狙いは憲法第9条第3項に自衛隊を書き込むことだ。いまの自衛隊という組織は戦争法としての安保法制に書かれているすべての軍事行動をすべてやるということになっている。憲法9条3項によって、日米安全保障条約を結んでいるアメリカ軍の軍事行動に日本が加担させられていくことになる。

それに対して、私たちがやることは、参議院選挙に向けて、二〇一五年の安保法制以降、自衛隊という組織がどれだけ危険な軍事組織に変質しているか、アメリカとの共同行動がどこまで可能になるのか、岸田政権が主張している敵基地攻撃論が実際の軍事行動ではどのようなものになる

のか、私たちはしっかりと市民運動として多くの人に伝える必要がある。

5、高まる軍事的緊張の中で、憲法9条を持っている日本の役割

東アジアの領域は軍事的に一触即発の状態、※ロシアのウクライナ侵攻が極めて危険状態、第2次世界大戦の軍事的に危険な状態に戻りつつある。この危機をどういうふうにも外交的に乗り越えるのか、本来で言うならば憲法9条を持っている日本国がどのような役割を果たすのかが問われている。世界的な軍事的危機の中でいまこそ憲法9条を持っている日本の出番だ。そして、絶対に軍事的対決にならない国際的な議論を作っていく中心になるべきで、そのことが、参議院選挙の重要で大きな焦点になっている。

2022年多摩市長選挙

・多摩市議会議員補欠選挙の日程

○告示日 2022年4月3日(日)

○投・開票日 2022年4月10日(日)

期日前投票も利用しましょう



それぞれの地方自治体のレベルでどのような共闘を構築していくのか、こんどの参議院選挙に向けて多摩市で新しい形で市民と野党の共闘を作るために、がんばりましょう。

※小森さんの講演は、ロシアのウクライナ侵略前に行われました。

多摩市長選挙2022

みんなの会は阿部裕行さんの 四期目当選をめざして

みんなの会は、二〇二二年三月九日に開かれた幹事会で、四月三日告示、一〇日投票の多摩市長選挙に向けて、二面の「みんなの会 市政運営の三つの理念・・・基本政策の柱」にもとづいて、現職の阿部裕行氏の四期目当選をめざして、応援する方向を一致して確認しました。

阿部市政の二二年間は、憲法や平和、原発、人権やジェンダー平等、地球温暖化問題など、みんなの会の「市政運営の三つの理念 基本政策の柱」と一致する市政運営が行われたと言えます。また、三期目のコロナ対応という未曾有の困難な中、市民の生命とくらしを守ることを第一に、可能な努力を尽くしてきました。

一方で、市民の要望に沿わないことも少なくないことを指摘しなければなりません。これらは四期目の課題として、改善が求められます。このような評価のもとに、みんなの会として、阿部市政の継続を支持することを確認しました。

ウクライナ侵略糾弾！ロシアはただちに攻撃をやめ、全ての軍隊の撤退を！

市政にみんなの声を！多摩市民の会

ロシアは2月24日、ウクライナに侵略を始めました。軍事施設だけでなく、住宅、病院、学校などを標的に無差別攻撃を重ね、原子力施設まで攻撃を行っています。これは独立国家の主権と領土を侵し、国連憲章、国際法を踏みにじり、人道に反し、人類をも危険にさらす、絶対に許せない侵略行為です。

ロシアのウクライナ侵略糾弾！平和守れ！ウクライナ国民と連帯！の声は、国連の特別決議が圧倒的多数で採択されたことに象徴されるように、国際社会の共通の声として、大きなうねりが起きています。私たち、「市政にみんなの声を！多摩市民の会」は、ただちにロシアは侵略攻撃をやめ、全ての軍隊を撤退させることを強く求めるものです。また、日本政府は、国連の「難民をはじめウクライナの人々の生命と生活を助ける支援物資を送ることが急務となっている」というよびかけにこたえて、非軍事支援に全力を挙げるべきです。私たちは、多摩市および多摩市民も侵略糾弾の声をあげるとともに、非軍事支援に充てられる募金などにとりくむことをよびかけるものです。

ウクライナ緊急募金

UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)のウクライナ緊急人道支援募金

<https://www.japanforunhcr.org/campaign/ukraine>



国連支援募金

ユニセフのウクライナ緊急募金

<https://www.unicef.or.jp/kinkyu/ukraine/>

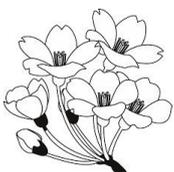


ユニセフ緊急募金

みんなの会

ホームページ

tama-minna.org



みんなの会参加団体

- ▽教育を考える多摩市民の会
- ▽原水爆禁止多摩協議会
- ▽原発なくす多摩市民の会
- ▽新日本婦人の会多摩支部
- ▽全国福祉保育労こぐま保育園分会
- ▼同 桜ヶ丘第一保育園分会
- ▽多摩・稲城労連
- ▼たま健康友の会
- ▽多摩市職員組合
- ▼多摩社会保障推進協議会
- ▽多摩生活と健康を守る会
- ▼東京土建多摩・稲城支部
- ▽東京都教職員組合多摩地区協議会
- ▼日本共産党南多摩地区委員会
- ▽日本国民救援会多摩支部
- ▼年金者組合多摩支部
- ▽民青同盟すずめ班

(アイウエオ順)